

令和3年度
事業報告

社会福祉法人 若草会

法人本部

I、重点項目

- 1、新型コロナウイルス感染症予防対策徹底
- 2、若草園改築・グループホーム建設
- 3、地域生活支援の拡充・強化
- 4、重度高齢障がい者の生活支援
- 5、人材確保及び人材育成
- 6、職員の離職防止・職場定着

II、具体的な取組み

1、法人運営

(1) 理事会・評議員会の開催

事業運営の執行機関としての理事会、議決機関としての定時評議員会を開催した。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面と対面を併用し開催した。

(2) 監査の実施

監事監査を実施し、事業運営及び予算執行並びに財政運営の適正化を図った。

(3) 透明性の確保

- ①法人運営の透明性を確保するため、法人現況報告書並びに一部財務諸表及び役員報酬基準、役員報酬総額を法人ホームページにおいて公表した。
- ②障害福祉サービス等の情報公表制度に基づき、基本情報（所在地・従業員数・営業時間等）や運営情報（権利擁護・苦情対応・安全管理等）を東大阪市に報告した。

(4) 会議の開催

- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、基本リモートにより開催。
- ①人事、労務、財政、新型コロナウイルス感染症対策、施設建設等法人課題に関する検討を行うため、管理職会議を開催した。
- ②施設長、主任を中心とした運営会議（1回/月）において、全事業の実施状況の共有、課題の共有と解消についての検討を行う。
- ③3施設共通事項の検討を行うため、「給食会議」、「送迎会議」、「自主製品会議」を必要に応じ開催した。

(5) 行政等関係機関との関係強化

東大阪市の障がい福祉向上に寄与することを目的に、東大阪市障害者自立支援協議会、東大阪市障がい児・者福祉施設連絡会、NPO法人東大阪障害者共同受注連絡会等に役員を送り出し、その運営に参画した。

2、組織強化

- (1) 感染症対策委員会、防災対策委員会、権利擁護委員会、魅力発信プロジェクトを立ち上げ、事業共通の課題解消を図った。委員会等参加については職員個々の自主性に任せ、

職員の主人公意識の活性化繋げた。

(2) 法令遵守、規定を順守し、コンプライアンスの強化を図った。また、法律の改正による各種規程の見直を行った。

(3) 公認会計士による財務会計に係る点検等を毎月行い、財政運営の安定確保に努めるとともに、福祉サービス費（収入）及び事業支出については、各事業所で管理を行い、稼働率向上、現状把握や加算算定による収益改善に努めた。

(4) プライバシーポリシー・虐待防止マニュアルを遵守し、利用者の人権を守るとともに、法人の信用性の向上・組織の安定化に努めた。

(5) 労務管理

① 労務管理、支援業務の効率化を図るため「ほのぼのmore」を導入した。

② 各ハラスメント規程を順守しハラスメント防止を徹底するとともに、ジェンダーに平等な環境づくりに努めた。

③ 職員が疲労やストレスを感じることの少ない、働きやすい職場環境づくりに向け、全職員対象にストレスチェックを実施した。

3、若草園改築及びグループホーム建設

(1) 施設建築について

若草園改築及びグループホーム建設工事については、令和4年3月18日竣工し、令和4年4月1日開所となった。

(2) 新グループホーム入居者について

令和3年10月に利用を希望するご家族に向けた入居説明会を行う。11月に各利用希望家族の面談を実施。12月中旬には入居者7名が決定する。

あわせて、入居予定者には成年後見制度申請手続きと、1月～3月にかけて体験利用を実施した。

(3) 新施設名称について

新施設の各事業について、名称の公募を利用者、家族、職員よりおこない行い下記の通り決定した。

- ・新ショートステイ：あおば
- ・新グループホーム：ひだまり

4、人材確保

令和4年度のグループホーム新設に向けて、人材確保担当職員を中心に、就職フェア参加、求人サイトの登録（新卒者・転職者・障がい者雇用・非常勤）・インターンシップフェア参加（オンライン説明会）・SDGsインターンシップ（オンラインでのSDGs活動

の共同作業)・関西福祉科学大学2年のオンライン説明会・施設見学等の取り組みを行い、新卒者5名、内部登用者3名、転職者2名の採用を決定した。

■今年度は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間の時期もあり、学校へ直接訪問することが出来ず、大阪商工会議所主催の大学説明会に参加する。

訪問日	訪問先
10月7日	大学等と企業との就職情報交換会(大阪商工会議所主催) (関西を中心とした西日本の62大学出展)
11月11日	大谷大学キャリアセンター担当者来所

■就職フェア

開催日	名称
3月4日	Face to FUKUSHIフクシゴト就職フェア(2022卒)
6月16日	スポーツフィールド「スポナビ」就職フェア
11月28日	東大阪市社会福祉協議会就職フェア
1月26日	東大阪商工会議所合同企業説明会・業界研究

■求人サイト登録

サイト名	登録期間
マイナビ	令和3年3月～令和4年3月
フクシゴト	令和3年3月～令和4年3月
マイナビ	令和3年3月～令和4年3月(中途採用マイナビ介護と福祉)
Indeed・ハローワーク	令和3年3月～現在(随時掲載)

■法人説明会・施設見学・インターンシップ・オンライン実習(WEB含む)

開催日	対象者	参加人数
随時	新卒者・転職者	16名
随時	非常勤	15名
8月30日～9月3日	関東・関西・九州の大学生	5名(学生50名10社)

■大学授業

新型コロナウイルス感染症のため中止 オンライン実習の受け入れ

実習日	大学	聴講学生数
11月4日	関西福祉科学大学	柿木ゼミ 12名

■内定懇親会（オンライン）

開催日	参加人数
令和3年10月13日	内定者1名 若草会職員6名
令和3年11月22日	内定者3名 若草会職員4名
令和4年2月15日	内定者6名

■採用試験

開催日	場所	受験数
令和3年7月3日	障がい者活動センターわかば	6名
令和3年9月5日	男女共同参画センター「希来里」	2名
令和3年12月12日	男女共同参画センター「希来里」	1名
令和4年1月9日	障がい者活動センターわかば	4名
令和4年2月5日	障がい者活動センターわかば	1名

5、人材育成

利用者サービスの向上と職員のスキルアップ並びに将来の事業運営責任者の育成向上を図るため、体系的な研修を実施した。特に離職防止・職場定着を図るために新規採用職員に対して「法人の歴史」から「障がい者の理解」等の基礎研修に加え、きめ細やかな職員間の交流の機会を大切に、先輩職員による講師依頼を実施し、採用担当者による振り返り面談等でフォロー体制の構築をした。しかし、新型コロナウイルス感染状況により、外部依頼の研修の延期等で年度内に実施できない研修が多数発生した。必要とする研修については来年度に持ち越し、外部との関係構築の継続を強化する。

■新人研修

開催日	研修名	講師
令和3年4月5日(月)	若草会の理念・歴史・事業について 福祉職員としての心得	理事長 松本施設長
令和3年4月6日(火)	チームワーク構築研修 コミュニケーション研修	下原 高嶋
令和3年4月21日(水)	社会人マナーと接遇について 就業規則と給料規定と人事評価からワーク バランスを考える	東 中屋
令和3年4月26日(月)	生活場面や利用者さんとの信頼関係を築く 「観察力」とは 支援における記録の目的と必要性について	木下 濱崎

令和3年4月27日(火)	仕事の進め方・考え方について学ぶ PDCAサイクル管理を徹底する	遠山 樋水
令和3年6月25日(金)	若草会事業について(事業プレゼン)	平井・山本 舛田・小西
令和3年9月10日(金)	仕事の振り返り・自己理解について	木村 下原

■全体研修

開催日	研修名	講師
令和3年5月28日	人権研修(虐待・権利擁護)	基幹相談支援センター 児玉氏

■階層別研修

階層	開催日	研修名	講師
5等級	令和3年5月13日(木)	介護現場におけるハラスメント研修について	大阪弁護士会 弁護士 飯島奈絵氏 出口みどり氏
	令和3年7月30日(金)	成年後見制度について	基幹相談支援センター 児玉祐子氏
4等級	令和3年5月13日(木)	介護現場におけるハラスメント研修について	大阪弁護士会 弁護士 飯島奈絵氏 出口みどり氏
	令和3年7月30日(金)	成年後見制度について	基幹相談支援センター 児玉祐子氏
	令和3年10月1日(金)	経営戦略とマネジメント	(株)ノーサイド 中西良介氏
	令和3年8月30日・9月16日・9月29日	財務報酬について(私の事業家 計簿) 事業ごとに分かれて実施	中屋事務長
3等級	令和3年5月13日(木)	介護現場におけるハラスメント研修について	大阪弁護士会 弁護士 飯島奈絵氏 出口みどり氏
	令和3年8月30日・9月16日・9月29日	財務報酬について(私の事業家 計簿) 事業ごとに分かれて実施	中屋事務長
	令和3年10月1日(金)	経営戦略とマネジメント	(株)ノーサイド 中西良介氏

2等級	令和3年10月28日 (木)	若草会を取り巻く機関との連携・社会資源について	あいん 八尾センター長
-----	-------------------	-------------------------	----------------

階層	開催日	研修名	講師
	令和3年8月19日(木)	支援中級コース (支援計画・アセスメント)	濱崎 東
	令和3年12月23日 (木)	支援課題・業務課題のアプローチ	霜田
1等級	令和3年5月21日(金)	支援基礎コース (業務知識・支援の根拠について)	日下部
	令和3年10月28日 (木)	若草会を取り巻く機関との連携・社会資源について	あいん 八尾センター長
	令和3年8月4日(水)	支援基礎コース (てんかんの理解・感染)	星野看護師
	令和3年10月19日 (火)	支援初級コース (支援計画・活動計画書の基礎)	古市

6、地域貢献

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域向け行事については中止とした。

7、重度高齢障がい者の生活支援

2022年4月に開設の新グループホームについては、人員体制、人員配置の具体化、人材確保を行った。また、入居者を確定し、成年後見の手続き、生活に必要な物品の準備、サービス利用開始に必要なその他の手続きを完了した。

8、医療的ケア

看護師4名を配置し、日常的な医療支援を実施するとともに、嘱託医の定期訪問、訪問リハビリテーション、訪問歯科を実施し、健康管理に努めた。

また、新グループホーム開設に伴う、利用者の健康管理等、医療面の充実を図る為、24時間連携可能な地域の訪問看護ステーションと契約を締結した。

9、感染症予防

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が拡大、基本的対策の徹底と不要不急の外出自粛・3密回避・ソーシャルディスタンスの励行について法人として定期的発信。時差出勤、テレワーク等の各事業で可能な限り実施し、拡大状況に応じて、事業所間の往来、会議をWebにて行う、来訪者制限を行い、できうる限りの措置を講じた。

また、安心安全の事業運営の為、衛生用品の確保、送迎車輛の消毒（業者依頼）等、補助金も活用しながら積極的に行った。

10、災害対策

防災対策委員会を設置。各事業所の備蓄の確認等あらためて行った。

11、自主製品

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、あらゆるイベント等が中止となり、販売については年末商品のみとなった。

12、美術展開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、東大阪市役所等で予定をしていた美術展を中止せざるを得ない状況となったが、ホームページを活用したWEB美術展を開催した。

Ⅲ、総括

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関しては、昨年度に引き続き各事業に大きな影響があり、事業によっては利用停止、一時閉所等の調整を余儀なくされた。

法人内の利用者、職員共に陽性者を出すことなく運営していたが、6月以降複数名の陽性者が確認されるようになり、その都度保健所、行政にも現状報告をしながら拡大防止を図ることとなった。感染ピーク時は、できうる限り様々な対策を講じたが歯止めがきかない状況であった。

各事業において通常取り組みを一旦中止、送迎メンバーの見直し、利用者、職員に対して行動制限等の注意喚起を法人としてお願いすることでその都度収束に向かうこととなった。

また、感染拡大防止の取り組みとして、普段の対策とは別に職員のワクチン接種に対する特別休暇を設定、利用者に対してもご家庭からの依頼に応じて随時同行、移動支援での対応等、積極的な接種を推奨した。

- (2) 新若草園・新グループホーム建設工事については、大きな遅れもなく、3月18日竣工、4月1日開所となる。年度末に準備日を3日間とり、各拠点からの物品の移動、新年度のシフトの確認等も含めた担当者会議をおこない、4月1日より新若草園・新グループホームとも、事業開始となる。

- (3) 地域生活の拡充・強化については、新グループホーム（7床）と新ショートステイ（11床）を4月から新たに開始する事業について、スムーズにスタートするために支給決定関係、相談支援との契約、成年後見制度の手続き（成年後見制度を利用して頂くにあたっては、保護者に対して説明会を実施）等、支援をスタートするにあたり必要な準備を行った。また、住民票等の変更手続きについては新年度すぐに変更することを後見人に依頼した。

(4) 重度高齢障がい者の生活支援については、新グループホームの入居者が決定。決定した入居者の支援に対応する人材確保、また、日々の健康管理を含む医療面の充実のため、24時間連携可能な地域の訪問看護ステーションと契約を締結し体制強化を図った。

(5) 人材確保については、2022年度4月の地域生活事業の拡大を見据え、常勤職員、非常勤職員ともに採用。目標の採用数には何とか達することができたが、法人全体として余裕を持った体制とはならなかった。

その他、障がい者2名を新規雇用。(就労移行支援事業所と就労・生活支援センターより) 今後も法人としてダイバーシティー雇用を積極的に進めていきたい。

(6) 職員の職場定着については、新人研修を含む各種研修実施及び外部研修への参加(学びの機会)、各事業所での定期的な振り返り、人材担当者の定期面談を実施し定着を図った。

■ 会議の開催状況

1. 定時評議員会

開催年月日	議 題
令和3年6月24日	1、令和2年度事業報告について 2、令和2年度決算の承認について 監事監査報告 3、役員を選任について

2. 理事会

回	開催年月日	議 題
第1回	書面決議 (令和3年6月1日通知)	1、令和2年度事業報告について 2、令和2年度決算報告について 監事監査報告 3、就業規則の一部改正について 4、評議員会への理事・監事候補者推薦 5、評議員選任・解任委員会への評議員候補者の推薦について 6、評議員選任・解任委員会への開催日時、開催場所について 7、評議員選任・解任委員会の選任について 8、令和3年度定時評議委員会の日時・場所並びに議題・議案について
第2回	令和3年6月24日	1、理事長の選定について
第3回	令和3年11月11日	1、令和3年度上半期事業実施状況について 2、令和3年度上半期財政運営状況について

第4回	令和4年3月24日	1、令和3年度第補正予算について 2、令和4年度事業計画について 3、令和4年度予算について 4、若草工房空調設備改修工事について 5、衛生管理規定及び衛生委員会運営規程について 6、就業規則の一部改正について 7、役員賠償責任保険の加入について 8、協調融資金融機関との契約及び実行について
-----	-----------	---

■ 関係機関会議への参画状況

会議名等	職名	対応者
東大阪市自立支援協議会 運営委員会 ケア連絡会 東地区ケア連絡会・指定特定ネットワークサロン	委員 会長 事務局	宮田・八尾 八尾 八尾・岩崎・永松
東大阪市社会福祉審議会	委員	宮田
東大阪市障がい児・者福祉施設連絡会	会長	宮田
東大阪市指定障がい福祉サービス事業所連絡会	幹事	木村
東大阪市障害支援区分認定審査会	委員	松本・八尾
大阪市障害支援区分認定審査会	委員	八尾
東大阪市ケア連絡会	会長	八尾
東大阪市相談支援事業所連絡会	委員	八尾
大阪弁護士会委託相談支援巡回相談事業	事務局長	八尾
大阪府障がい者相談支援アドバイザー	—	八尾
東大阪市就労支援ネットワーク会議	委員	東
東大阪市就業・生活支援センター運営委員会	運営委員	高田
NPO法人東大阪市障害者共同受注連絡会	理事	中村
地域福祉推進ネットワーク会議 東地区	幹事	八尾
地域福祉推進ネットワーク会議 中地区	委員	松本
東大阪市福祉施設団体連絡会	副会長	宮田
東大阪市福祉施設団体連絡会人材確保PT	委員	下原
東大阪市文化芸術審議会	委員	中島
東大阪市集団給食研究会	監事	宮田

